



認定遺伝カウンセラー®

Certified Genetic Counselor : CGC

？ 遺伝カウンセラーって なんですか？

遺伝医療にかかわる専門職で、遺伝カウンセリングの専門家です。医師とは異なる立場で、患者さんやご家族をサポートします。

病気の遺伝や、遺伝情報の検査（染色体や遺伝子、ゲノムの検査）などについて相談する場として、**遺伝カウンセリング**があります。遺伝カウンセリングでは、患者さんやご家族の遺伝にまつわる不安や悩みについてゆっくりお話を聞きしたり、情報をわかりやすくお伝えしたり、検査にまつわる決定をお手伝いしたりします。



？ 病院ではどんなことを していますか？

例えば、下記のようなことを行います。

- ご家族の病歴をまとめた家系図を作成します。病気や体質に関する遺伝の確率や、ご家系でサポートが必要な方はどなたか、一緒に確認します。
- 遺伝情報がもたらしうる医療面、心理面、社会面における影響について一緒に考えます。
- 遺伝情報の検査（遺伝子や染色体、ゲノムの検査）を受けるかどうか、ご家族に病気や遺伝についてどうお話するかなどの相談にのります。
- それぞれの方のニーズに合う医療が受けられるように、医療チームの一員として働きます。



？ どうやって遺伝カウンセラーになりましたか？

指定の大学院修士課程を修了して認定試験に合格すると、遺伝カウンセラーの認定資格が得られます。日本では、日本遺伝カウンセリング学会・日本人類遺伝学会が共同で認定している資格です。資格の正式名称は「認定遺伝カウンセラー®」で商標登録されています。

指定大学院では、遺伝医学やカウンセリング学などを学んだり、遺伝カウンセリングの実習や研究を行います。

資格取得後の活動はさまざまです。遺伝カウンセラーとしての専門知識やコミュニケーション能力を生かして、企業で働く人もいます。また、医療者や一般の方への教育活動も行っています。

資格認定の詳細はこちら



認定遺伝カウンセラー制度委員会
<https://plaza.umin.ac.jp/~GC/>

遺伝情報（染色体・遺伝子）とは

わたしたちの体のつくりかたや生きていくためのしくみを決めています。染色体や遺伝子の変化（ちがい）で多様性がつくられます。変化は病気の原因となることがあり、それを知ることで医療に生かすのが**遺伝医療**です。近年は、遺伝情報全体であるゲノムを調べる検査も行われます。広範囲な遺伝情報を生かす医療は、ゲノム医療ともよばれます。

